

なくし格差のない社会を

男女共同参画の取り組みは



Q 女性の社会進出において日本は世界の中でも下位に位置している。本町でも具体的な取り組みが必要ではないか？

A ジェンダーギャップ指数について日本は世界の153か国中121位、政治分野及び経済分野において男女間の格差が大きいです。大津町の現状などを把握しながら啓発を進めていく。

乗合タクシーの利便向上について

Q 高齢者が菊陽町に移転したセントラル病院に行く際は、乗り合いタクシーからバスに乗り換えて病院に行くことになるのか。

A セントラル病院は乗り合いタクシーの利用対象エリア外となるため使用できない。対策として現在運行しているバス路線を一部変更し、移転先に新たにバス停を設置することを予定している。また乗り合いタクシーの利用エリアに含めてほしいとの要望もあり、今後検討していく。



地域活性化策の推進

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みは。

A 地域おこしの戦略として位置づけており、大津駅周辺の活性化を行うもの。イオン北側の桜並木整備や駅舎南側のイルミネーションの設置等を行なっている。また駅南側のふれあい散歩道商店街を中心に活気ある動きが始まった事は大きな成果。



駅舎南側のイルミネーション

ジェンダーギャップを

総務委員会レポート



避難所となった野外活動研修センター

コロナ禍の避難所運営の強化について

Q コロナ禍の避難所運営や避難所の環境整備は。

A 今回は避難所を16箇所開設したが、老人福祉センターが満員になったためオックスプラザ等を追加開設し、ソーシャルディスタンスを踏まえ、一人当たり3平方メートルの間隔で運営した。今後、避難所の定員を定め避難状況の周知等の対策について新年度に導入する災害システムと合わせて検討する。

コロナ禍の財政状況強化策は



Q 熊本地震から4年、新型コロナウイルスの発生、このような状況の中、今後の財政状況の見通しは。

A 新型コロナウイルスの感染症に対し、臨時交付金4億円は交付予定、合わせて財政調整基金の繰り入れも2億3000万円計上している。今後は、公債費を始め経常的な経費も増えていくことが見込まれる。これらも踏まえ計画を立てる必要がある。

スポーツの森駅新設に向けた調査検討について

Q 「スポーツの森駅新設に向けた調査・検討等に関する陳情」に関して資金面をどうするかが大きな課題だと思うが。

A 財源と利用者の確保という2点がポイントとなる。民間活用も含めまちづくり全体の中で、駅の位置づけやその周辺地域の開発をどう考えるかという視点から財源確保に向けた方策等を議論し、また、駅設置に関する補助事業もあり、補助の種類や活用できるかどうかについて調査する。



スポーツの森陳情

新聞掲載

【大津町議会の豆情報】

今号では次回選挙（2020年1月31日）より適用される「選挙公営制度拡大」および選挙制度についてご紹介します。

町議会豆情報① 「選挙に伴う町負担（公費）の拡大」とともに、議員立候補に伴う供託金15万円が必要になります。

道路整備の優先順位は

Q 点数制等の明確な基準を持って。説明できる体制をつくるべきではないか。

A 通学路であるかどうかや、交通量を考慮しながら対応の優先順位を決めている。点数付けはしているが、熊本地震以降優先順位が逆転しているところもあるので、明確な基準を再構築して説明できるようにしたい。

の要望に対する優先順位は



さんそん桜団地近くの町道

Q トイレや遊具の整備が進む一方で駐車場が少ないが、どう考えているのか。

A 町外からもつじを見に来られる方も多く、駐車場の数としては少ないと思うが、増やすとすれば用地の問題もある。今のところはイベント時など臨時の駐車場を借りるなどしてやっていくしかないと思っている。



昭和園の新しいトイレ

昭和園の整備が進むが

町民向けの宿泊プランは

Q 地域のホテルに宿泊する方も増えているので利用できるように。

A 地元ホテルの良さを知って頂いて、他県の知人や友人に今後薦める際の参考になると思われる。事務受託の事業者と協議して商品化したい。関係機関とも内需の掘り起こしを相談したい。



Go To トラベル地域共通クーポン

町議会豆情報②

新たな公費負担は選挙カー関連費用（レンタカー代、ガソリン代、運転手費用）、②選挙用ポスター作製費、選挙運動用ビラの作製費（上限あり）の3つです。

道路維持管理や新設

経済建設委員会レポート



企業ガイダンス会場になった翔陽高校

地元就職の取り組み

Q 公立高校が3校ある中で若い人へのPRは。

A 6月に翔陽高校にて企業ガイダンスを開催した。コロナ禍ではあるが、今後も開催場所を考慮し、情報交換会を開催する予定。学校側と連携しながら大津町の宝である若い人材を外部に流出しないよう努めたい。

岩戸の里の跡地利用

Q 元大津温泉(岩戸)の里跡地利用はどのような状況か。

A ふれあい公園の芝生広場を拡張することで検討していたが、見直しを行い、令和2年度に白川沿いに転落防止のフェンス設置と南出口仮設団地の集会所を移設することにした。



利用が待たれる総合交流ターミナル跡地

町有林管理の現状は

Q 基本財産林保護委員の活動は。

A 町民にとって、大事な財産の大津町町有林710ヘクタールを8名の基本財産林保護委員が日ごろの監視活動で守っている。

意見 広範囲な町有林の管理を行ってもらう基本財産林保護委員の後継者はすぐに見つからない。先を見据えて対策を考えていただきたい。



造林安全祈願

町議会豆情報③

供託金は立候補に先立って納めるもので町長は50万円、議員は15万円。供託金没収点を上回れば返金されます（目安は議員で100票）。

そしてコロナとの共存

〔コロナ関連〕

地域移動販売事業について

Q 地域移動販売事業は営利事業ではなく支援事業になるが、行政はどう関わるのか。

A 新型コロナウイルス感染症として買い物時の三密を防ぐ目的と同時に、地域福祉の視点で買い物に困る住民支援や高齢者等の見守り支援でもある。福祉課とまちづくり推進室や介護保険課と協力し進めていく。



地域移動販売車

修学旅行キャンセル手数料について

Q 修学旅行キャンセル手数料について保護者からの問合せはないか。

A 保護者からの問合せはない。キャンセル料の発生するタイミングは、例えば小学校だと旅行日の30日前から10%、前日であれば一人当たり9398円の負担。当日であれば全額負担となる。保護者負担が軽減できるようにしたい。

しかし、教育委員会としてはなるべく修学旅行を実施する方向で進めている。

意見 キャンセルが前日というわけにはいかない。子どもたちががっかりしないように事前に情報を出すなど配慮をお願いする。



介護サービスへの影響は

Q コロナ禍で介助を受けている方々が介護サービスを遠慮されるなどの相談件数の増加や、介護度が悪化している状況はあるか。

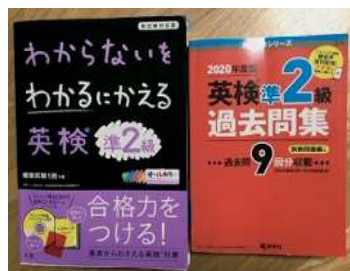
A コロナ禍により町の事業も一部休止した。再開後の体力測定でも利用者の筋力低下は若干見受けられた。認知症が進んだという相談も6月以降から増え始めた。事業休止期間中は、定期的な訪問・電話対応など行い、事業再開後には筋力向上の取組など実施している。

Q 今後、コロナが継続し、状況が悪化した場合の対応について方針はあるか。

A 感染予防の対策を徹底しながら介護予防事業を展開し、筋力低下を防止しながら取り組んでいきたい。

事業の効果を高める

文教厚生委員会レポート



英語検定受験用教材

英語検定チャレンジ補助金

Q 英語検定受験が予定の3分の1以下となっている。進んでいないのではないか。

A チャレンジ配布などで啓発している。

現在1回しか受けることができない制度なので、再チャレンジする際に補助ができるよう検討する。

保育体制強化事業の現状は

大津町保育士就職支援金

対象園	対象職	支援金種類
認可保育所	正規職員	就職支援金 10万円
認定こども園 小規模保育所		転入支援金 5万円

保育体制強化事業例

Q 保育士が働きやすい職場環境を整備することが目的の事業だが、過去2年を見ると成果がでていない。人材バンクの設置などすすんでいるのか。

A 人材バンクは昨年度設置したが、登録が少なく就労に至っていない。

意見 保育士が不足しているから取り組めていない保育がある。どうやって保育士を確保するか真剣に考えてほしい。

運動公園利用拡大に向けて

Q 運動公園の多目的広場の利用について、整備した効果もあり使用頻度が上がっているようなので、火曜日休園をやめ、利用させてはどうか。

A 火曜日の貸出については、施設の管理状況、職員の勤務状況を確認し検討する。



多目的広場